

# 平成29年度 事業別予算概要

事業名	41500	生活環境保全事業費	予算	会計	1	一般会計	基本分野	2	環境・景観	根拠計画		市長公約
				款	4	衛生費	個別分野	2	生活環境	実施計画事業	生活環境保全事業	
担当課		環境政策部 生活環境課	内線	項	1	保健衛生費	施策の概要	3	公害対策の強化	H29実施計画額	4,000 千円	
			2172	目	5	生活環境費						

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	どうしたいのか(意図)	・安全安心な生活環境を確保する。 ・公害の発生防止と公害が発生した場合は、被害を最小限に食い止める。	概要	事業の実施手法(手段)	・水質の汚濁を防止するため、河川水質の監視及び河川環境保全の重要性を啓発する。 ・騒音、振動、悪臭苦情に係る立ち入り検査を随時実施する。 ・騒音の定期観測調査を実施する。
	対象者数	90,024 人					

## 2 事業の推移・結果(Do)

H27の実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・騒音、振動、悪臭苦情に係る立ち入り検査の実施と騒音の観測調査の実施</li> <li>・水質の汚濁を防止するため、河川水質の監視及び河川環境保全の啓発</li> <li>・高山市快適環境づくり市民会議の活動推進(グリーンマーケット、クリーン作戦等の実施)</li> </ul>								
成果面	指標名		単位	目標・実績	H27	H28	H29	H30	H31
	活動指標	水質調査地点	個所	目標値	19	19	19	19	19
		実績値	19	-	-	-	-		
		算出根拠等	達成率(%)	100	-	-	-		
		ボイ捨て等及び路上喫煙禁止の啓発/ハローの実施	目標値	30	30	30	30		
			実績値	26	-	-	-		
			算出根拠等	達成率(%)	87	-	-		
	成果指標	カワゲラウオッチング参加者数	人	目標値	60	60	60	60	60
		実績値	109	-	-	-			
		算出根拠等	達成率(%)	182	-	-			
		騒音、振動、悪臭苦情の解決件数	目標値	64	-	-	-		
			実績値	61	-	-	-		
算出根拠等			達成率(%)	95	-	-			
グリーンマーケット参加者数	目標値	2,200	2,200	2,200	2,200	2,200			
	実績値	1,300	-	-	-				
	算出根拠等	達成率(%)	59	-	-				

## 3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公害苦情件数が昨年に比べ約2割増加している。</li> <li>・苦情のうち大気汚染(屋外焼却)や水質(油漏れや泡の発生)に係る件数が約2/3を占めていることから、啓発活動を実施する必要がある。</li> </ul>
-----------------	--

## 4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH28対応状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公害防止に対する市民の意識向上のため啓発を行うとともに、公害苦情に対して関係機関と連携し、適切な対応をとる。</li> <li>・大気汚染及び水質汚濁防止啓発活動を強化する。</li> <li>・長期化している公害案件について、関係機関、地元、事業者と連携し、早期解決を図る。</li> </ul>	
課の考えの担当	○ 維持・改善	
	拡大	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公害防止に対する市民の意識向上のため啓発を行うとともに、公害苦情に対して関係機関と連携し、適切な対応をとる。</li> <li>・大気汚染及び水質汚濁防止啓発活動を強化する。</li> <li>・長期化している公害案件について、関係機関、地元、事業者と連携し、早期解決を図る。</li> </ul>
	縮小	
	廃止検討	

## コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)	H26 決算額	H27 決算額	H28 予算額	H29 予算要求額
	歳出(千円)	(A) 3,712	2,943	5,990	5,326
	受益者1件当たり(円)	(A/B) 41	32	67	59
	受益者 市民(4月1日現在)	(B) 91,605	90,938	90,024	90,024

## 5 予算編成(Action2)

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・悪臭、水質、土壌中放射性物質、河川水質</li> <li>・高山市快適環境づくり市民会議の事務局運営</li> <li>・ボイ捨て等及び路上喫煙禁止条例の啓発</li> </ul>	要求のポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・土壌中放射性物質調査の実施</li> <li>・高山市快適環境づくり市民会議による環境関連イベントの実施</li> </ul>	事業実施の課題	・公害等発生抑制の啓発
------	--	---------	---	---------	-------------

事業費(人件費除く)	H28当初予算額	H29予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	5,990	5,326	△ 664	3,980	3,980	・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金	283	325	42	287	287		
その他			0				
一般財源	5,707	5,001	△ 706	3,693	3,693		

# 平成29年度 事業別予算概要

事業名	42200	ごみ収集事業費	予算	会計	1	一般会計	基本分野	2	環境・景観	根拠計画	ごみ処理基本計画	市長公約
				款	4	衛生費		個別分野	2		生活環境	
担当課	環境政策部	生活環境課	内線	項	2	清掃費	施策の概要	5	ごみの適正処理	H29実施計画額	303,000	千円
				目	2	塵芥処理費						

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	どうしたいのか(意図)	・市の分別ルールによって出されたごみなどを適正に収集運搬する。 ・家庭や事業所から排出されるごみの減量化を図る。	概要	事業の実施手法(手段)	・ごみの出し方と分別意識の向上を啓発する。 ・ごみ処理券回収奨励金を交付し、ごみの減量化を図る。 ・市内全域の可燃・不燃・資源ごみ・容器包装・粗大ごみ等の収集運搬を適正に実施する。 ・不適正処理(不法投棄・違反ごみ等)対策を継続する。
	対象者数	90,024	人				

## 2 事業の推移・結果(Do)

H27の実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ごみの出し方と分別の啓発(冊子作成、広報掲載)</li> <li>・ごみ処理券回収奨励金の交付</li> <li>・市内全域の可燃・不燃・資源ごみ・容器包装・粗大ごみ等の収集運搬実施</li> <li>・ごみステーションに置かれた違反ごみの回収</li> <li>・不法投棄対策(パトロール、通報による出動等)の実施</li> </ul>							
	指標名	単位	目標・実績	H27	H28	H29	H30	H31
活動指標	ステーションごみ収集日数	日	目標値	259	259	257	256	258
	算出根拠等		実績値	259	-	-	-	-
活動指標	不法投棄監視パトロール日数	日	目標値	20	20	20	20	20
	算出根拠等		実績値	37	-	-	-	-
活動指標	ごみの分け方・出し方の啓発	回	目標値	12	12	12	12	12
	算出根拠等		実績値	11	-	-	-	-
成果指標	家庭系一般廃棄物収集量	t	目標値	18,010	17,779	17,575	17,386	17,200
	算出根拠等	ごみ処理基本計画	実績値	18,301	-	-	-	-
成果指標	家庭ごみ(資源ごみを除く)の1人1日当たりの排出量	g/人・日	目標値	473	472	470	469	467
	算出根拠等	ごみ処理基本計画	実績値	476	-	-	-	-
成果指標	ごみ処理券回収枚数	枚	目標値	300,000	300,000	300,000	300,000	300,000
	算出根拠等		実績値	333,759	-	-	-	-
成果指標	算出根拠等		達成率(%)	101	-	-	-	-
			達成率(%)	111	-	-	-	-

## 3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ごみの減量化対策を強化する必要がある。</li> <li>・違反ごみや不法投棄は依然として発生しているため、不適正処理対策を継続して実施する必要がある。</li> </ul>
-----------------	---

## 4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH28対応状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ごみの減量化に向けた対策の検討(シール制状況調査、可燃ごみ分析等)を行う。</li> <li>・委託事業者の収集時におけるパトロールの実施や不法投棄パトロールによる不適正処理の未然防止策を実施する。</li> <li>・広報などによりごみの不適正処理の防止やごみの分け方・出し方の啓発を行う。</li> <li>・人口減少や少子高齢化など社会情勢や生活様式の変化に即したごみの分別や収集方法を検討する。</li> </ul>	
課の考えの担当	維持・改善	
	拡大	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ごみの減量化に向けた具体的な対策を検討する。</li> <li>・委託事業者の収集時におけるパトロールの実施や不法投棄パトロールによる不適正処理の未然防止策を実施する。</li> <li>・広報などによりごみの不適正処理の防止やごみの分け方・出し方の啓発を行う。</li> </ul>
	縮小	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人口減少や少子高齢化など社会情勢や生活様式の変化に即したごみの分別や収集方法を検討する。</li> </ul>
	廃止検討	

## コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)	H26 決算額	H27 決算額	H28 予算額	H29 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	277,217	295,057	302,620	300,219
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	3,026	3,245	3,362	3,335
	受益者 市民(4月1日現在)	(B)	91,605	90,938	90,024	90,024

## 5 予算編成(Action2)

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ごみの出し方と分別の啓発</li> <li>・ごみ処理券回収奨励金の交付</li> <li>・市内全域の可燃・不燃・資源ごみ・容器包装・粗大ごみ等の収集運搬</li> <li>・ごみステーション違反ごみの回収</li> <li>・不法投棄対策(パトロール、通報による出動等)の実施</li> </ul>	要求のポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づく一般廃棄物処理実施計画を作成し、適正な収集運搬の実施</li> </ul>	事業実施の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・分別の啓発強化</li> <li>・家庭からの可燃ごみの減量対策</li> <li>・さらなる不適正処理対策(パトロールの実施や関係部署との連携強化)</li> <li>・収集エリア、収集量、収集コスト等の検証による委託業務の見直しの検討</li> </ul>
------	---	---------	---	---------	--

事業費(人件費除く)	H28当初予算額	H29予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	302,620	300,219	△ 2,401	302,620	302,620	積算内容を精査	財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金			0				
その他	20,190	20,170	△ 20	20,190	20,190		
一般財源	282,430	280,049	△ 2,381	282,430	282,430		

# 平成29年度 事業別予算概要

事業名	42210	ごみ焼却処理事業費	予算	会計	1	一般会計	基本分野	2	環境・景観	根拠計画	ごみ処理基本計画	市長 約
				款	4	衛生費		個別分野	2		生活環境	
担当課	環境政策部	生活環境課	内線 2960	項	2	清掃費	施策の概要	5	ごみの適正処理	H29実施計画額	190,000	千円
				目	2	塵芥処理費						

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	どうしたいのか (意図)	・安全で適正なごみ焼却処理を実施する。	概要	事業の実施 手法(手段)	・ごみの焼却処理及び焼却施設の維持管理を実施する。 ・焼却炉の適正な運転管理を行うため、設備の保守点検業務等を実施する。
	対象者数	90,024					

## 2 事業の推移・結果(Do)

H27の実績		・ごみの焼却処理及び維持管理の実施(資源リサイクルセンター、久々野クリーンセンター) ・設備の点検整備による性能維持及びダイオキシン類濃度等の調査を実施								
成果面	活動指標	指標名		単位	目標・実績	H27	H28	H29	H30	H31
		ごみ焼却日数(資源リサイクルセンター)		日	目標値	335	335	335	335	335
		実績値		349	-	-	-	-		
		算出根拠等			達成率(%)	104	-	-	-	-
		ごみ焼却日数(久々野クリーンセンター)		日	目標値	80	80	80	80	80
		実績値		122	-	-	-	-		
	算出根拠等			達成率(%)	153	-	-	-	-	
	目標値									
	実績値									
	算出根拠等			達成率(%)						
	成果指標	ダイオキシン類濃度(資源リサイクルセンター排ガス)		ng/m <sup>3</sup>	目標値	1以下	1以下	1以下	1以下	1以下
		実績値		0.11	-	-	-	-		
算出根拠等		ダイオキシン測定結果	達成率(%)	100	-	-	-			
ダイオキシン類濃度(久々野クリーンセンター排ガス)		ng/m <sup>3</sup>	目標値	5以下	5以下	5以下	5以下	5以下		
実績値		0.16	-	-	-	-				
算出根拠等		ダイオキシン測定結果	達成率(%)	100	-	-	-			
目標値										
実績値										
算出根拠等			達成率(%)							

## 3 分析・評価(Check)

分析・評価で 明らかになった課題	・老朽化した焼却施設の性能維持と延命化が必要である。 ・可燃性粗大ごみを適正に処理していく必要がある。
---------------------	--

## 4 今後の方向性(Action)

課題等に対する H28対応状況	・老朽化した焼却施設の安全な運転と法定点検の実施及び維持管理を継続して実施する。 ・可燃性粗大ごみの処理のため、2つの焼却施設の効率的な運転を行う。	
次年度の担当 課の考え方	○維持・改善	・焼却炉の更新を見据え、現施設の適切な維持管理と性能の維持を継続する。
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	

## コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)		H26 決算額	H27 決算額	H28 予算額	H29 予算要求額	
	歳出(千円)		(A)	259,919	189,693	217,636	285,960
	受益者1件当たり(円)		(A/B)	2,837	2,086	2,418	3,176
	受益者	市民(4月1日現在)	(B)	91,605	90,938	90,024	90,024

## 5 予算編成(Action2)

事業内容	・直営によるごみ焼却施設の維持管理 ・設備の点検及びダイオキシン類濃度などの調査 ・ごみ焼却施設の保守点検	要求の ポイント	・長期修繕計画に基づく焼却施設の維持管理	事業実施の 課題	・コスト削減に向けての取り組み(施設の統廃合の検討) ・設備更新による効果の検証と維持計画の見直しによる施設の適正な維持管理
------	---	-------------	----------------------	-------------	---

事業費(人件費除く)		H28当初予算額	H29予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		217,636	285,960	68,324	216,936	216,936	・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
財源 内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他	86,320	89,418	3,098	92,320	92,320		
	一般財源	131,316	196,542	65,226	124,616	124,616		

# 平成29年度 事業別予算概要

事業名	42220	ごみ埋立処理事業費	会計	1	一般会計	基本分野	2	環境・景観	根拠計画	ごみ処理基本計画	市長公約
			款	4	衛生費	個別分野	2	生活環境	実施計画事業	ごみ埋立処理事業	
担当課		環境政策部 生活環境課	項	2	清掃費	施策の概要	5	ごみの適正処理	H29実施計画額	47,000 千円	
		内線	目	2	塵芥処理費						
		2960									

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	どうしたいのか(意図)	・汚水処理施設の適正管理と臭気の発生防止などによる安全な埋立て処理を実施する。	概要	事業の実施手法(手段)	・廃棄物の埋立処理事業を実施する。 ・汚水処理施設の維持管理を実施する。
	対象者数	90,024 人					

## 2 事業の推移・結果(Do)

H27の実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>埋立処分地(資源リサイクルセンター、久々野クリーンセンター、丹生川埋立処分地、荏川埋立処分地、上宝埋立処分地)の埋立作業及び維持管理作業の実施</li> <li>設備の点検整備及びダイオキシン類濃度等の調査を実施</li> </ul>									
成果面	活動指標	指標名		単位	目標・実績	H27	H28	H29	H30	H31
		埋立作業日数		日	目標値	310	310	310	309	310
		算出根拠等			実績値	310	-	-	-	-
					達成率(%)	100	-	-	-	-
					目標値					
					実績値					
	成果指標	算出根拠等			達成率(%)					
					目標値					
					実績値					
					達成率(%)					
		ダイオキシン類濃度(資源リサイクルセンター第1次埋立処分地処理水)		pg/l	目標値	10以下	10以下	10以下	10以下	10以下
					実績値	0.0067	-	-	-	-
算出根拠等		ダイオキシン測定結果	達成率(%)	100	-	-	-	-		
ダイオキシン類濃度(資源リサイクルセンター第2次埋立処分地処理水)		pg/l	目標値	10以下	10以下	10以下	10以下	10以下		
			実績値	0.073	-	-	-	-		
算出根拠等		ダイオキシン測定結果	達成率(%)	100	-	-	-	-		
ダイオキシン類濃度(久々野クリーンセンター埋立処分地処理水)		pg/l	目標値	10以下	10以下	10以下	10以下	10以下		
			実績値	0.00035	-	-	-	-		
算出根拠等		ダイオキシン測定結果	達成率(%)	100	-	-	-	-		

## 3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>埋立処分地浸出水の適正な処理と、埋立処分地の延命化が必要である。</li> <li>可燃性粗大ごみの処理を促進する必要がある。</li> </ul>
-----------------	---

## 4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH28対応状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>埋立処分地汚水処理施設の適正な維持管理の実施。</li> <li>事業者に対する埋立てごみの搬入制限や破砕機による埋立量の減容化等による埋立処分地の延命化を継続して実施。</li> <li>埋立が完了した第1次埋立処分地の有効活用を検討するため、現況調査を実施する。</li> <li>可燃性粗大ごみの処理方法を検討する。</li> </ul>	
課の考えの担当	○ 維持・改善	
	拡大	<ul style="list-style-type: none"> <li>埋立処分地汚水処理施設の適正な維持管理の実施。</li> <li>事業者に対する埋立てごみの搬入制限や破砕機による埋立量の減容化等による埋立処分地の延命化を継続して実施。</li> <li>調査結果を踏まえ、第1次埋立処分地の有効活用を検討する。</li> </ul>
	縮小	<ul style="list-style-type: none"> <li>調査結果を踏まえ、第1次埋立処分地の有効活用を検討する。</li> <li>可燃性粗大ごみの処理方法を検討する。</li> </ul>
	廃止検討	

## コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)		H26 決算額	H27 決算額	H28 予算額	H29 予算要求額	
	歳出(千円)		(A)	42,794	54,807	58,090	74,365
	受益者1件当たり(円)		(A/B)	467	603	645	826
	受益者	市民(4月1日現在)	(B)	91,605	90,938	90,024	90,024

## 5 予算編成(Action2)

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>埋立処分地(資源リサイクルセンター、久々野クリーンセンター、丹生川埋立処分地、荏川埋立処分地、上宝埋立処分地)の維持管理</li> <li>設備の点検及びダイオキシン類濃度等の調査</li> <li>埋立処分地残容量の測定</li> <li>悪臭等の環境測定</li> </ul>	要求のポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>埋立関連施設の適正な維持管理</li> </ul>	事業実施の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>埋立処分地の延命化対策(埋立廃棄物の破砕による減容等)</li> <li>第1次埋立処分地の有効活用の検討</li> </ul>
------	---	---------	--	---------	---

事業費(人件費除く)		H28当初予算額	H29予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		58,090	74,365	16,275	66,340	66,340	積算内容を精査	財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他	26,012	26,346	334	27,012	27,012		
	一般財源	32,078	48,019	15,941	39,328	39,328		

# 平成29年度 事業別予算概要

事業名	42240	資源化推進事業費	予算	会計	1	一般会計	基本分野	2	環境・景観	根拠計画	ごみ処理基本計画	市長公約	
				款	4	衛生費		個別分野	2				生活環境
担当課	環境政策部	生活環境課	内線	項	2	清掃費	施策の概要	4	循環型社会の構築	実施計画事業	資源化推進事業	H29実施計画額	167,000 千円
				目	2	塵芥処理費							

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	どうしたいのか(意図)	・家庭や事業所から排出されるごみの減量化及び資源化を図る。 ・排出された粗大ごみ等を再利用しごみの減量化を図る。 ・資源の循環により循環型社会の形成を図る。	概要	事業の実施手法(手段)	・生ごみ堆肥化装置設置に対する補助を実施する。 ・粗大ごみ等のリフォーム及びリフォーム製品フェアを開催する。 ・ごみの出し方と分別及び資源化の啓発並びに資源ごみの集団回収の奨励を行う。 ・資源ごみの収集運搬選別及び施設の適正な稼働を行う。
	対象者数	90,024 人					

## 2 事業の推移・結果(Do)

H27の実績		<ul style="list-style-type: none"> <li>・生ごみ堆肥化装置設置補助金の交付、ごみの出し方と分別及び資源化の啓発</li> <li>・リフォーム製品フェアの開催(支所開催含む)</li> <li>・小型家電の収集及び処理施設(資源リサイクルセンター、久々野クリーンセンター)での受入</li> <li>・資源回収事業での奨励金交付(79団体)・収集したごみの選別・圧縮・減容等による資源化及び拠点集積所の適正管理</li> </ul>							
成果面	活動指標	指標名	単位	目標・実績	H27	H28	H29	H30	H31
		拠点集積所での回収日	日	目標値	52	52	52	52	52
		算出根拠等		実績値	52	-	-	-	-
		算出根拠等		達成率(%)	100	-	-	-	-
		リフォームフェア開催回数	回	目標値	20	20	20	20	20
	成果指標	算出根拠等		実績値	21	-	-	-	-
		算出根拠等		達成率(%)	105	-	-	-	-
		生ごみ堆肥化装置設置補助件数	件	目標値	57	57	57	57	57
		算出根拠等		実績値	8	-	-	-	-
		算出根拠等	ごみ処理基本計画	達成率(%)	14	-	-	-	-
成果指標	集団資源回収・拠点集積所での回収量	t	目標値	4,602	4,503	4,464	4,408	4,342	
	算出根拠等		実績値	4,738	-	-	-	-	
	算出根拠等	ごみ処理基本計画	達成率(%)	103	-	-	-	-	
	資源ごみ資源化率(家庭系ごみ)	%	目標値	30	30	30	30	30	
	算出根拠等		実績値	30	-	-	-	-	
算出根拠等	ごみ処理基本計画	達成率(%)	100	-	-	-	-		

## 3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生ごみ堆肥化装置設置補助及び集団資源回収に対する啓発の強化が必要。</li> <li>・ごみの減量化と資源ごみの分別を徹底し、さらなる資源の循環を図るための啓発を市民に行う必要がある。</li> </ul>
-----------------	---

## 4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH28対応状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ごみの減量化や資源化のため、生ごみ処理や資源回収並びに分別等の啓発を継続して実施する。</li> <li>・不燃ごみから鉄類などを選別し、資源化することを徹底して実施する。</li> <li>・民間企業による資源物回収量の把握に努める。</li> <li>・市内全地域でのリフォーム製品フェアの開催並びにそのPR活動を継続して実施する。</li> <li>・多様なリフォーム製品を揃えるなどにより、利用者の拡大を図る。</li> </ul>	
課の考えの担当	○ 維持・改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ごみの減量化や資源化のため、生ごみ処理や資源回収並びに分別等の啓発を継続して実施する。</li> </ul>
	拡大	<ul style="list-style-type: none"> <li>・不燃ごみから鉄類などを選別し、資源化することを徹底して実施する。</li> <li>・民間企業による資源物回収量の把握に努める。</li> </ul>
	縮小	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内全地域でのリフォーム製品フェアの開催並びにそのPR活動を継続して実施する。</li> </ul>
	廃止検討	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多様なリフォーム製品を揃えるなどにより、利用者の拡大を図る。</li> </ul>

## コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)	H26 決算額	H27 決算額	H28 予算額	H29 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	171,777	153,917	165,288	187,709
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	1,875	1,693	1,836	2,085
	受益者	市民(4月1日現在)	(B)	91,605	90,938	90,024

## 5 予算編成(Action2)

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生ごみ堆肥化装置設置に対する助成</li> <li>・粗大ごみ等の再利用によるごみの減量化</li> <li>・リフォーム製品フェアの開催</li> <li>・ごみの分別と資源化の啓発</li> <li>・資源回収事業に対する奨励</li> <li>・資源回収事業に対する奨励</li> <li>・拠点集積所管理業務</li> <li>・廃棄物の選別回収、資源化処理業務</li> </ul>	要求のポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生ごみ堆肥化装置設置の促進</li> <li>・集団回収の奨励</li> <li>・日常生活から出される資源ごみの再資源化にかかる経費を計上</li> </ul>	事業実施の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民、集団資源回収団体への啓発</li> <li>・ごみ処理施設の安全と、適正な管理運営</li> </ul>
------	--	---------	---	---------	---

事業費(人件費除く)		H28当初予算額	H29予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
財源内訳	歳出(千円)	165,288	187,709	22,421	160,778	160,778	積算内容を精査	財務部査定のとおり
	国庫支出金			0				
	県支出金	10	5	△5	10	10		
	その他	12,900	12,909	9	12,900	12,900		
	一般財源	152,378	174,795	22,417	147,868	147,868		